

2018年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、42億4,400万円となり前年同期比124.1%、計画比105.8%でした。
これは医薬品製造受託事業において、国内最大規模の顆粒剤製造移管事業が呉羽工場にて予定通りに進み、関連製剤の製造量が今年度に最大化したためとなります。
収益面では、経常利益2億8,400万円となり、前年同期比2億3,100万円増となりました。
これは上述した呉羽顆粒剤工場の本格稼働により、収益性が向上したためとなります。

(事業運営面)

既存受託品目の高品質で安定的な供給及び、新規取引先開拓、新規受託品目獲得に注力しております。
また、共同事業会社の富山めぐみ製薬(株)とともに、新たな配置薬ビジネスモデルの構築に努めて参ります。

○ 課題への取組み

・更なる工場稼働率および収益性向上のため、積極的に医薬品製造受託事業の拡大に注力しております。

○ トピックス、適時情報

・6月18日開催の第104回定時株主総会にて取締役・監査役が選任されました。

代表取締役 CEO: 塩井保彦

取締役: 境井洋 濟木育夫 *吉岡毅 *宇多雅美 中尾哲雄 小沢伊弘 新田八朗 阿部武夫

監査役: 竹内二三雄 佐伯康博 桶屋泰三

※新任取締役となります

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第1四半期、平成30年4月～平成30年6月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	2,799,732	3,141,060	3,419,291	4,244,414
経常利益	-279,136	-251,309	53,444	284,343

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は、46億5,400万円となり、前年同期比115.7%、計画比101.7%でした。
収益面では、経常利益2億7,400万円となり、前年同期比1億9,500万円増となりました。
増収増益の理由は単体における理由と同様となります。
引き続き、収益性増加のため、工場稼働率の向上、販管費のコストコントロールに取り組んで参ります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第1四半期、平成30年4月～平成30年6月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	3,606,055	3,868,484	4,022,184	4,654,385
経常利益	-303,610	-250,439	78,543	274,009

2018年度
(第1四半期)

広貴堂グループ IR情報

グループ各社

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比95.3%の13億2,700万円となりました。
経常利益は前年同期比26.5%の600万円となりました。

(事業運営面)

今年度の経営目標である

◎今後の業界再編を視野に入れ情報収集を行い収益性強化の方向性で営業活動

◎現状の売上を維持するための営業活動実施

◎新製品の開発推進 インバウンド向け商品の情報収集 新規商品化を目指す

◎積極的な営業活動推進・新規販売先の開拓 ◎収益性の強化

を推進していきます。

○ トピックス、適時情報

1. 6月19日に第58回定時株主総会および取締役会を開催し取締役4名、監査役1名が選任されました。

代表取締役社長 宇多雅美 取締役 江野本加寿雄 取締役 林庸平 取締役 塩井貴晴

監査役 西田久則

2. 新発売(4~6月)

医薬部外品 100mlドリンクリニューアル 1アイテム

清涼飲料水 500mlペット飲料 2アイテム

○ 業績の概況 (第1四半期、平成30年4月~平成30年6月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	1,392,671	1,402,504	1,393,482	1,327,384
経常利益	24,413	23,696	23,118	6,122

広貴堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

第一四半期は目標対比100%を達成し、利益は四半期としては過去最高の1,160万円を確保できました。
これは経営改善と、商品施策が功を奏し「人件費の変動費化」「原価率の圧縮」等が行われた結果です。

(事業運営面)

昨年後半より再度構築し始めた粗利施策によりドリンクの配下が進み販売面で原価率の良い自社商品が売上の核を占めるようになりました。また組織体制を従来の社長直轄型から、エリア制に移行し、人員の定着、育成を行うというメッセージを全社員に出しています。

○ トピックス、適時情報

4月より代表取締役として平井 裕が就任しました。

平成30年5月25日第1回取締役会が開催されました。

平成30年6月16日第2回取締役会が開催されました。

トキワ広貴堂との施策の相乗りという事でトキワが扱っている「からだよろこぶ黒酢」の取り扱いを開始しました。

○ 業績の概況 (第1四半期、平成30年4月~平成30年6月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	459,308	398,654	378,616	367,115
経常利益	-14,347	13,056	4,086	11,592

2018年度
(第1四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第一四半期は昨年対比で減収減益となっています。要因としては、毎年行ってきたドリンク中心の粗利施策が徹底できず、回収に後れを生じたためです。依然、黒字が出る体質はできていますが、再度、粗利施策の立て直しを行います。

(事業運営面)

主力商品である「サンリキソZ5000」の拡売を行いました。希釈飲料「野草発酵」の取り扱いを開始しました。

○ トピックス、適時情報

4月より代表取締役として平井 裕が就任しました。

平成30年5月25日第1回取締役会が開催されました。

平成30年6月16日第2回取締役会が開催されました。

広貫堂薬品販売との施策の相乗りという事で薬品販売が扱っている「野草発酵飲料」の取り扱いを開始しました。

○ 業績の概況 (第1四半期、平成30年4月～平成30年6月)

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
売上高	60,100	57,924	58,247	47,232
経常利益	3,905	815	4,823	2,788